

子ども司書だより

7月28日

第2回

本の分類を知り、 レファレンスを極めよう！



7月28日(日)、「NDCってなあに?」「レファレンスってなあに?」をテーマに第2回子ども司書養成講座を開講しました。まず、講座では、「日本十進分類法(NDC)」を学び、図書館では、本を探しやすくするために、分類して配置されていることを確認しました。

次に、利用者の相談に応じて情報を探す「レファレンス」について学びました。



実践的な演習として、「天気のおしぎ」に関する、台風やエルニーニョ現象についての課題をチームで協力して調べました。1冊の本だけで答えを見つけないのではなく、複数の本で調べることが大切なことを学びました。

その後、開架室に行き、NDCに基づいて配置されている本を確認しました。「アサガオの種は昔どのように使われていたか?」「ひまわりの花畑の写真がのっている本はどこ?」という課題に、受講生たちは、みんなで協力しながら本を探していました。

最後に、カウンターで本の返却業務を体験しました。本のバーコードを読み取って、ページの破れや傷がないかを確認する作業を丁寧に行いました。

これからも受講生たちには、実践的な体験を通して、より一層、司書の仕事に魅力を感じていただくと嬉しいですね。

